

短期語学研修での学び、感じたこと

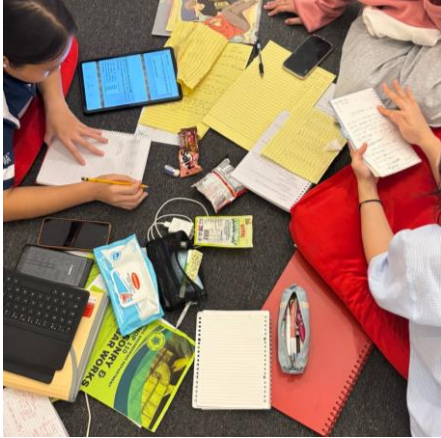
経営学部 3 年 原優花

私にとって今回の語学研修は、初めての留学であり、同時に初めての海外という大きな挑戦でした。約 1 か月間という短期の研修ではあったものの、たくさんの人と出会い、たくさんのことを学べたとても充実した期間でした。研修前は分からないことだらけで不安ばかりでしたが、私が在学した期間、LCIC の留学生のコースには、韓国人と台湾人がそれぞれ 1 割、日本人が 8 割ほど在籍していたため、「もし分からないことや困ったことがあってもすぐに聞ける」という安心感を持った状態で研修を開始できました。時間割は自由に、自分に合った履修を組めたため英語力を高めるという目的に合わせて授業をとることができました。また、1 クラス 10 人前後の少人数制だったため、先生との距離も近く、どのクラスも発言しやすい環境、雰囲気でした。

また、授業は集中してしっかりと取り組み、放課後や週末は観光をしたり、ショッピングモールで買い物をしたり、アクティビティでリフレッシュしたりなど、メリハリのある毎日を過ごすことができました。

クラスを変更できる期間があったため、そのタイミングで、「もう少し上のレベルに挑戦してみよう」と考え、クラスのレベルを 1, 2 段階上げました。周りの学生のスキルの高さに圧倒されてはついていけず落ち込むことも時々ありましたが、先生が真摯に向き合ってくれたり、クラスの友達に助けってもらったりしながら自分のペースで学習を続けることができました。その経験を通じて、「周りと比較せず、自身のペースで学び続けることの大切さ」を実感しました。





学生寮では、日本人3人、韓国人1人、フィリピン人3人と同じクラスターで生活しました。最初は緊張もあったけれど、毎晩一緒に勉強したり話したりしていくうちにすぐに仲良くなり、最終的にはどのクラスターよりも仲が良かったと自信を持って言えるほどになりました。お互いの文化や考え方を共有する時間は発見や驚きが多く、いつも楽しくてあっという間に感じました。

今でもほぼ毎日 SNS や電話で連絡を取り合うほどみんなと仲が良いです。



初めての海外で過ごした1か月は、すべてが新鮮で、たくさんの学びや出会いがありました。この経験を通じて、語学力だけでなく、自分の軸を持つことや挑戦する大切さ、を学びました。LCIC で出会った先生や友人、サポートしてくれた親や大学の職員の方に感謝してこれからも学びを続けていきたいです。